

山形市の まちづくり

事業概要 | 都市計画道路・都市計画公園
中心市街地活性化



事業箇所 一覧図

(国・県施行分を含む)



双月志戸田線
(国道112号霞城改良)H14~H31
W=31m,L=900m

霞城公園整備事業H10~H45

霞城公園の一部
(旧中央公園)

四日町日月山線H25~H32
W=20m,L=343m

四日町日月山線H15~H29
W=20m,L=637m

水の町屋 七日町御殿堰
七日町拠点 七日町御殿堰南

諏訪町七日町線H27~H32
W=20m,L=124m

旅籠町八日町線H22~H32
W=30m,L=586m

山形停車場医学部線H10~H29
W=18m,L=266m

駅前公園

山形まなび館

(仮称)プレミアムショッピングタウン256

東原村木沢線H22~H29
W=20m,L=283m

ひばり公園

十日町双葉町線H26~
W=30m,L=147m
旅籠町八日町線H26~
W=30m,L=130m

山形まるごと館 紅の蔵

凡例

- 整備済路線
- 概成済路線
- 市・街路事業路線
- 県・街路事業路線
- 国・道路事業路線
- 未整備路線
- 都市計画公園・緑地
- 公園整備事業
- 中心市街地活性化基本計画主要事業
- 中心市街地活性化基本計画区域

※事業終了年度については、進捗状況などにより、変更になる可能性があります。

No.1 都市計画道路事業(山形市施行)

3・2・7号 十日町双葉町線、 3・3・6号 山形停車場医学部線 及び 3・4・8号 美畑天童線

1. 目的及び効果

山形駅の東西を連結する駅環状道路として位置付けられており、JR線で東西に分断された市街地の連携を強化し、山形駅周辺の市街地活性化を図る役割を担った重要な幹線道路です。また、東西間の交通渋滞の緩和、円滑な交通の確保と山形駅周辺の交通結節機能の強化を図るものです。

2. 事業の概要

事業年度：平成10年度～平成29年度 進捗率：99% (平成28年3月現在) 総事業費：約161億円

3. 道路諸元

3・2・7号 十日町双葉町線

区 間：山形市五日町、双葉町一丁目、幸町、香澄町三丁目
延 長：L=441.6m
幅 員：W=30.0m 車道W=20.0m・歩道W=5.0m×2
車線数：4車線

3・3・6号 山形停車場医学部線

区 間：山形市幸町
延 長：L=266.9m
幅 員：W=18.0m 車道W=9.0m・歩道W=4.5m×2
(主要交差点部：車道W=11.0m・歩道W=3.5m×2)
車線数：2車線

3・4・8号 美畑天童線

区 間：山形市幸町、香澄町三丁目
延 長：L=80.2m
幅 員：W=18.0m 車道W=9.0m・歩道W=4.5m×2
(主要交差点部：車道W=11.0m・歩道W=3.5m×2)
車線数：2車線



3・2・7号 十日町双葉町線 及び 3・2・5号 旅籠町八日町線

1. 目的及び効果

駅環状道路を構成し、山形駅周辺の連携強化を担う重要な幹線道路です。現在一方通行である旅籠町八日町線を対面通行化するとともに、JR線で東西に分断された市街地の円滑な交通ネットワークを形成し、交通渋滞の緩和、中心市街地の活性化、交通安全の確保、都市防災機能の強化を図るものです。

2. 事業の概要

事業調査：平成26年度～

3. 道路諸元

3・2・7号 十日町双葉町線

区 間：山形市香澄町三丁目、十日町四丁目
延 長：L=147.4m
幅 員：W=30.0m
車道W=20.0m・歩道W=5.0m×2
車線数：4車線

3・2・5号 旅籠町八日町線

区 間：山形市香澄町三丁目、十日町四丁目
延 長：L=130.1m
幅 員：W=30.0m
車道W=20.0m・歩道W=5.0m×2
車線数：4車線

3・4・28号 四日町日月山線

1. 目的及び効果

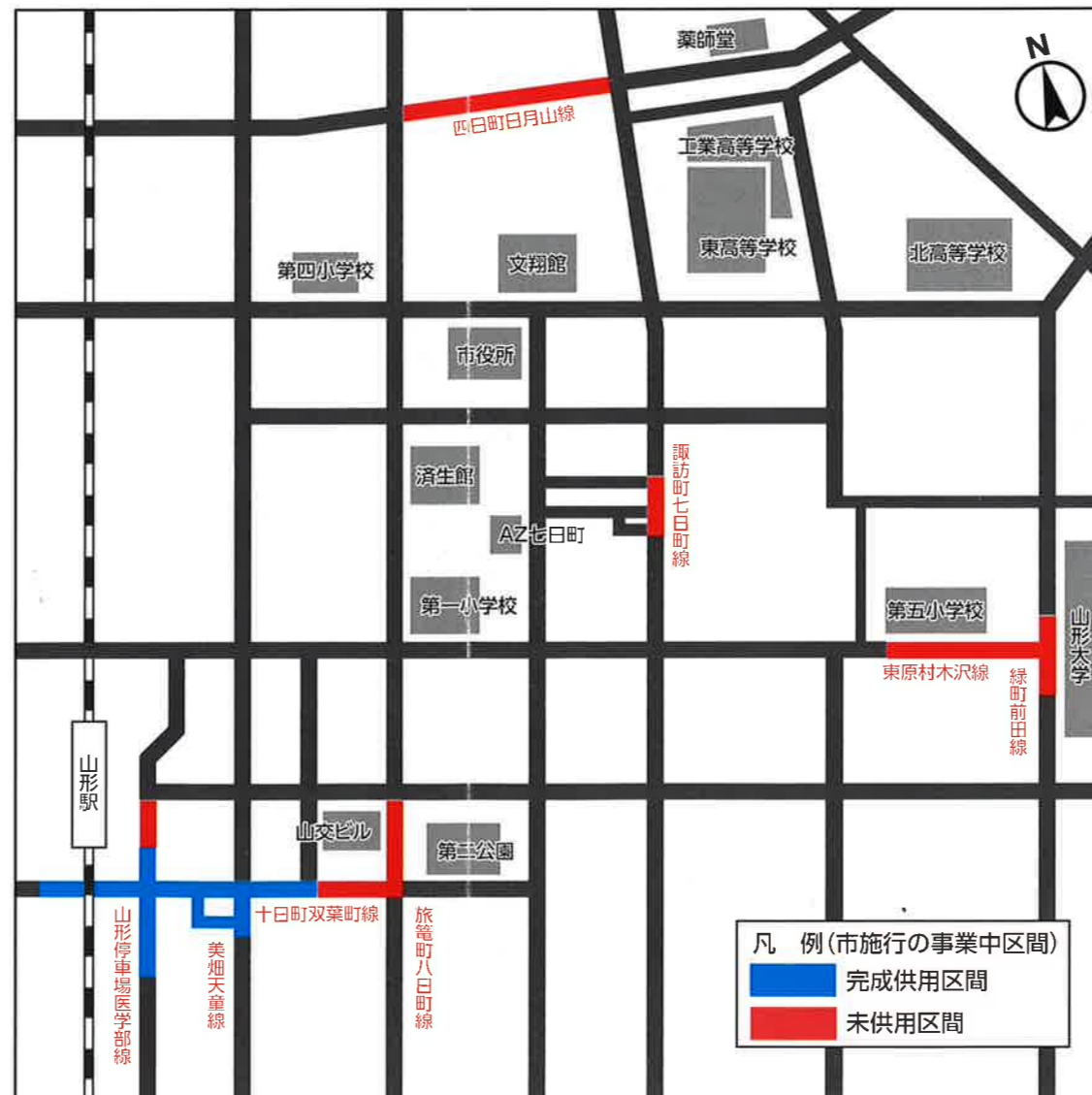
中心市街地に発生集中する交通を環状道路(国道13号)に連絡する主要な幹線道路として位置付けられております。通勤通学の大動脈としても利用されており、交通渋滞の緩和を図るとともに、交通安全の確保、都市防災機能の強化及び住環境の改善を図るものです。

2. 事業の概要

事業年度：平成25年度～平成32年度
進捗率：22% (平成28年3月現在)
総事業費：約35億円

3. 道路諸元

区 間：山形市六日町、薬師町一丁目
延 長：L=343.0m
幅 員：W=20.0m 車道W=11.0m・歩道W=4.5m×2
車線数：2車線



3・4・25号 東原村木沢線

1. 目的及び効果

中心市街地を東西に横断し、都心リングや駅環状道路とつながる重要な路線です。円滑な交通のネットワークを形成し、中心市街地における交通渋滞の緩和を図り、交通安全の確保、都市防災機能の強化及び住環境の改善を図るものです。

2. 事業の概要

事業年度：平成22年度～平成29年度
進捗率：91% (平成28年3月現在)
総事業費：約19億円

3. 道路諸元

3・4・25号 東原村木沢線

区 間：山形市東原町一丁目、東原町二丁目
延 長：L=283.6m
幅 員：W=20.0m 車道W=11.0m・歩道W=4.5m×2
車線数：2車線

3・6・2号 緑町前田線

区 間：山形市東原町一丁目、東原町二丁目、小白川町一丁目
延 長：L=189.6m
幅 員：W=11.0～14.0m
車線数：2車線



施行後



施行前

3・4・24号 諏訪町七日町線

1. 目的及び効果

七日町周辺から十日町周辺の商業・業務地を支える都心リングを形成する重要な役割をもった南北道路です。本事業区間を整備し、都心の円滑な交通ネットワーク形成により交通渋滞の緩和を図るとともに、南北方向のアクセスの強化、交通安全の確保、通学路の安全性の向上、都市防災機能の強化を図るものです。

2. 事業の概要

事業年度：平成27年度～平成32年度
進捗率：14% (平成28年3月現在)
総事業費：約12億円

3. 道路諸元

区 間：山形市七日町二丁目、七日町五丁目、本町二丁目
延 長：L=124.7m
幅 員：W=20.0m 車道W=11.0m・歩道W=4.5m×2
車線数：2車線

No.2 都市計画公園事業(山形市施行)

霞城公園整備事業

1. 目的及び効果

霞城公園は市街地の中の中心部にある公園で、公園周囲の水堀は山形城二ノ丸跡です。盛土によって作られた二ノ丸土塁や四方の門となる石垣が遺構として残っています。山形駅西地区と七日町中心市街地をつなぐ「歴史・文化軸」として、本公園の果たす役割が、ますます重要になってきており、歴史を伝える山形市のシンボルとして、平成45年度の全体完成を目指し、整備を進めています。

昭和61年に国の史跡指定を受け、平成3年3月には、日本古来の伝統的建築様式により二ノ丸東大手門を復元しました。また、平成8年度からは、本丸の正門である一文字門の発掘調査を行い、平成10年度から平成15年度で石垣復元、平成16年度から平成17年度で大手橋復元、平成24年度から平成26年度で高麗門及び柵形土塀復元を完了し、平成27年度までに本丸東側・南側・西側の堀及び土塁の一部について復元工事を完了しました。

今後は、本丸堀及び土塁の復元工事を進めるとともに、併せて桜の園、梅の園、本丸御殿広場及び二ノ丸土塁園路の整備を行っていきます。その後は、順次野球場のある北側エリアの整備を進めていきます。

2. 事業概要

【本丸一文字門石垣等復元事業】

事業年度：平成10年度～平成30年度
主な施設：石垣、大手橋、柵形(高麗門・土塁)、堀、土塁など

【本丸一文字門周辺整備事業】

事業年度：平成16年度～平成30年度
主な施設：本丸一文字門広場、桜の園、梅の園、本丸御殿広場、二ノ丸土塁園路など

3. 事業のスケジュール

霞城公園整備計画書作成	昭和59年度	本丸一文字門石垣等復元事業	平成10年度～平成30年度
国の史跡指定	昭和61年度	本丸一文字門周辺整備事業	平成16年度～平成30年度
二ノ丸東大手門復元事業	昭和62年度～平成3年3月	霞城公園整備事業完成予定	平成45年度



本丸一文字門



本丸一文字門復元完成イメージ図



二ノ丸東大手門



南側エリア完成イメージ鳥瞰図

山形ニュータウン関連公園整備事業

1. 目的及び効果

山形ニュータウン事業は、恵まれた自然環境と地理的条件のもと、山形広域圏の都市機能の拡充と、ゆとりと潤いのある良好な居住環境を備えた新都市の整備を目的とし、健康・福祉・文化・交流・自然・ゆとりをテーマとした暮らしを可能にする都市づくりが進められ、ゆとりある優良な宅地供給を図るものです。

その事業に併せ、起伏のある丘などの原地形を活かしたデザインにより地区公園及び街区公園を整備し、憩いの場や子供たちの遊び場としてコミュニティ形成に寄与するとともに、良好な居住環境にふさわしい緑化を図るものです。

2. 事業概要

事業年度：平成16年度～平成31年度
公園数：地区公園 1箇所、街区公園 6箇所
事業面積：約5.3ha
総事業費：8.5億円

3. 事業のスケジュール

蔵王みはらしの丘公園(地区公園・3.8ha)	平成16～31年度整備予定
// 1号公園(街区公園・0.25ha)	平成22年度完成
// 2号公園(街区公園・0.18ha)	平成18年度完成
// 3号公園(街区公園・0.27ha)	平成20年度完成
// 4号公園(街区公園・0.25ha)	平成25年度完成
// 5号公園(街区公園・0.25ha)	平成29～31年度整備予定
// 6号公園(街区公園・0.3ha)	平成26～29年度整備予定



蔵王みはらしの丘公園(地区公園)の整備状況



蔵王みはらしの丘4号公園の整備状況



中心市街地活性化公園整備事業

1. 目的及び効果

中心市街地内にある都市公園は、整備当時に比べ周辺の住環境、人口及び地域特性が変化し、かつ、公園施設の老朽化が進んでいることから、利用者数の減少や景観性の低下がみられ、有効的に活用されていない状況です。

この事業において、地域特性や多様な市民のニーズに対応した休憩場、待ち合わせ場、賑わいの場、イベント等の交流拠点となるなど、中心市街地の活性化に資する公園として新設及び再整備を行うものです。

2. 事業概要

事業年度：平成28年度～平成32年度
新設公園：街区公園 1箇所(ひばり公園)
再整備公園：総合公園 1箇所(霞城公園の一部(旧中央公園))
街区公園 1箇所(駅前公園)
事業面積：約2.2ha
総事業費：2.5億円

3. 事業のスケジュール

ひばり公園	(街区公園・0.1ha)	平成29年度整備予定
駅前公園	(街区公園・0.1ha)	平成29～30年度再整備予定
霞城公園の一部(旧中央公園)	(総合公園・2.0ha)	平成30～32年度再整備予定



駅前公園整備後の活用イメージ(整備例：ほっとなる広場公園)

No.3 中心市街地活性化事業

山形市では、平成26年10月末で終了となった山形市中心市街地活性化基本計画に引き続き、平成26年11月から5年5ヶ月を計画期間とする新たな「山形市中心市街地活性化基本計画」を策定し、平成26年10月17日付で内閣総理大臣より認定を受けました。

新計画では、「歴史や文化を活かした、山形の魅力あふれるまちづくり」を基本テーマに、旧計画の検証を踏まえ、街なか回遊の推進や空き店舗対策、山形の歴史・文化資源を活かした新たな拠点の整備などを推進し、中心市街地の活性化を図っております。

3つの賑わい創出拠点

拠点1 水の町屋 七日町御殿堰

御殿堰の整備に合わせ、蔵を中心とした歴史的な街なみの再現や、歴史的な御殿堰の再生による風情のある景観の創出など、蔵と堰の流れの景観に配慮し「山形らしさ」を活かした商業施設の整備を行った。

併せて県産品や地元土産品のPR及び販売店の設置により、街なか観光や街なか巡りに対応した魅力ある商業拠点として、街なかの賑わい創出に寄与しております。



拠点2 山形まなび館

昭和2年に竣工した山形県下初の鉄筋コンクリート構造である第一小学校旧校舎は、当時のわが国建築技術の最先端を示しており、県内建築技術の先進性を示す重要な建築物でありました。

平成22年より「山形まなび館」として、山形市の観光PRや伝統工芸の紹介、販売、新たな魅力を創出するイベントを開催するほか、地域の文化的活動の場の提供を行い、住民や来街者の交流の場として、街なかの賑わい創出に寄与しております。



拠点3 山形まるごと館 紅の蔵

山形ならではの特産物や食文化を体感できる施設を設置、運営し、「蔵」という歴史・文化資産を活かした山形らしいまちづくりを進めるとともに、産直市などの機能も備え、新たな賑わいと交流の拠点となった。

運営に当たっては、「食」をはじめとした体験型、参加型の多彩なイベント等を開催しており、街なか観光交流人口の増加に寄与しております。

